

< 学校長より（令和7年6月） >

中間考査も終わり、6月に入りました。じめじめとした梅雨の季節を迎えましたが、ここからが本格的な学校生活のスタートです。

< 1年生の皆さんへ >

入学から2か月が経ち、学校生活にも少しずつ慣れてきた頃でしょうか。今の自分を見つめ直し、これからの目標を明確にしていきましょう。

< 2年生の皆さんへ >

探究学習のテーマは決まりましたか？すでに決まった人は、なぜそのテーマを選んだのか、自分の言葉で語れるようにしておきましょう。探究学習において最も大切なのは、「自分の問い」を持つことです。

< 3年生の皆さんへ >

いよいよ進路決定のカウントダウンが始まりました。早くから目標を定めて努力してきた人は、ここが踏ん張りどころです。一方で、まだ迷っている人もいるかもしれません。しかし、時間は待ってくれません。今こそ、自分の未来に向けて一歩を踏み出す時です。

6月7日（土）には、第23回土岐商東京同窓会が開催されました。関東で活躍されている卒業生の皆様が年に一度集う貴重な機会であり、今回は2回生から70回生まで、35名の方々が参加されました。

私は卒業生ではありませんが、「土岐商業の卒業生として認めていただけますか？」とご挨拶したところ、温かい拍手をいただき、大変嬉しく思いました。挨拶では、陸上競技部やウェイトリフティング部の東海大会出場、探究学習への取り組みなど、学校の近況を報告しました。

同窓会では、創設期の卒業生であり、第1回から毎年欠かさず参加されている2回生・3回生の方々とお話しする機会がありました。「土岐商業の卒業生であることに誇りを持っている。」「毎年この同窓会を楽しみにしている。来年も元気であれば必ず参加したい。」と語ってくださいました。来年もまたお話しできることを楽しみにしています。

また、同窓会役員の皆様（18回生～43回生）とも交流し、「土岐商での学びは、社会に出ても決して色あせることはない。」との言葉をいただきました。特に印象的だったのは、「高校卒業後すぐに東京で働き始め、右も左も分からない中でも、土岐商で培った知識と信念で幾多の困難を乗り越え、定年まで勤め上げた。時代の違いもあるかもしれないが、幸運にも就職先における定年後の福利厚生面など手厚い制度によって、今はある程度余裕のある生活が送れている。現在の就職先は、高卒・大卒を問わず選択肢として多々あると思われるが、キャリアアップを目指した転職等も話題の時代だからこそ、自分の将来を十分に見据えた設計が大切です。隣の芝生は青く見えるものです。何となく嫌だから転職するのではなく、石の上にも三年、学業や将来的に必要な知識（例えば、福利厚生や年金制度など）を含めて、長く働ける力を土岐商で育ててほしい。」という力強いメッセージでした。

これからも、皆さん一人ひとりが「学び、考え、楽しむ」ことを大切にしてください。皆さんの成長を、多くの方々が応援しています。

土岐商業高等学校 校長